

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かな子どもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第98号 R5. 9. 1

保幼小中一貫教育 ～豊能町夏季教職員研修「公開保育」(ふたば園)～

7月28日、豊能町夏季教職員研修の一環として、「公開保育」がふたば園にて実施されました。町内小中学校・保幼の教職員が参加。はじめに3歳児クラスの保育及び園内研修の様子を参観しました。その後、参加者全員が小グループに分かれ、保育中のビデオを見ながら、園児の行った行動の理由や気持ちをそれぞれが見立て、意見交換をしました。



自由あそび
参加者がお客さんになり「お店屋さん」ごっこをしたり、バーベキューや料理をしたり…。イメージを共有して、一緒に遊びました。

「いちにちうんち」の読み聞かせ。お気に入りの絵本になりました。

校種間交流
保幼小中の先生方が混じった小グループでの活発な意見交流が行われました。

参加された先生の感想を紹介します。

- ◆子どもの行動には必ず意味があるということ。決めつけず、前後に何があったのか、子ども同士の話等で想像をふくらませ、何が必要なのかを考えながら関わり、つなげていくことの大切さを学ぶことができました。(就学前教員)
- ◆子どもの興味・関心を引きつけること、発達を促すために環境を整えることはとても大切で、保育園・幼稚園の先生方は、特に力を入れて考えておられることが分かりました。(小学校教員)
- ◆言葉をなかなか発することができない子への先生方の声掛けを聞いて、丁寧だと思いました。ただ、「代弁しすぎない」ということは、小学校でも感じることです。(小学校教員)
- ◆子どもの行動の奥にあるものをみていくことの大切さを再認識しました。今までにも増して、不安や課題を抱えている子どもたちに寄り添っていきたいです。(中学校教員)

とよのを知ろう とよのを学ぼう ① 「とよの未来科」の実践始まる

「川あそび ～はつやんからのメッセージ～」(吉川保育所)

吉川保育所は、豊能の自然あそびの中で、「ときめき」「ひらめき」「気づき」「発見」を体験できるような活動をテーマに、「豊能」のよさに気づき、学んだことや今までの経験を活かし自分たちで作りあげていく楽しさを味わえるよう吉川保育所周辺の地域や自然の探求をしています。子どもたちが興味をもちやすいように「空想の世界から届くメッセージ」をもとに、そこから発する子どもたちの声を聴き、活動へと展開していきます。

今年度は吉川保育所のすぐ近くに流れる初谷川に住む「はつやん」から、「初谷川の魚が少なくなってきている。」というメッセージが届きました。川あそびに行く時には、「はつやんに会えるかな?」「魚元気かな?」などの会話が聞こえてきます。川の中では石を動かし水の流れが変わる様子を楽しむ姿や、蟹をうまく触れずにハサミではさまれそうになった子どもに、「こうやってもつねん。」と教えてあげる姿も見られました。また、プールとは違い川の中は足元が石でデコボコしていたり、流れる水の中を歩いたりするのを怖がる姿もありました。ペットボトルで作った魚獲り機で魚を捕まえると、キャンプで焼いて食べた経験のある子どもはその時の事を友だちに話していました。

今後は「魚はなぜ少なくなってきたのかな?」というメッセージとともに、川だけでなく初谷の山を散策し、子どもたちの主体的な活動へと繋げていきたいと思っています。



令和5年度 第4回豊能町教育委員会会議(7月定例会)

7月27日に開催された教育委員会会議において、令和6年度から豊能町内の小学校で 사용되는教科用図書が採択されました。

採択に関する資料の公表について

教科用図書の採択に関する調査資料等につきましては、下記にてご覧いただけます。なお、町ホームページでも公表しています。

- 場所：豊能町役場 行政情報コーナー (豊能町余野 414-1)
吉川支所 閲覧コーナー (豊能町東ときわ台 1-2-3)
- 時間：午前9時～午後5時30分 (土・日・祝日及び閉庁時間帯を除きます)

